



安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

1. 化学品及び会社情報

1.1 名称

製品名 : FU 2920

1.2 会社情報

製造者/供給者 : 旭化成ワッカーシリコン株式会社
住所 : 東京都千代田区神田錦町2-9
郵便番号 : 〒101-0054
電話番号 : +81 3 3291-2281
FAX 番号 : +81 3 3291-2289

SDSについての情報 : 電話番号 03 5283-8850
ファックス番号 03 3291-2289
E-メール MSDS-AWS@wacker.com

緊急連絡先 : +81 3 4578 9341

1.3 推奨用途および使用上の制限

物質/調剤の用途:
工業用
消泡剤

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

| 危険有害性クラス | 危険有害性カテゴリー | 暴露経路 |
|-------------------|------------|------|
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 区分2 | |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分1 | |
| 水生環境有害性 (急性) | 区分2 | |

2.2 ラベル要素

絵表示またはシンボル:



注意喚起語: 危険

| H-コード | 危険有害性情報 |
|-------|----------|
| H315 | 皮膚刺激。 |
| H318 | 重篤な眼の損傷。 |
| H401 | 水生生物に毒性。 |

安全データシート (SDS)

製品名： 60082553

FU 2920

版数： 2.3 (JP)

印刷日： 09.12.2019

改定日： 28.11.2019

| P-コード | 注意書き |
|----------------|---|
| P280 | 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 |
| P273 | 環境への放出を避けること。 |
| P264 | 取扱い後、よく手を洗うこと。 |
| P305+P351+P338 | 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| P310 | 直ちに医師に連絡すること。 |

2.3 その他の危険

データなし。

3. 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区分

混合物

3.2 化学名又は一般名

シリコーン乳濁液

| 成分 | 含有量 (%) | 化学特性 | 官報公示整理番号 化審法 | 官報公示整理番号 安衛法 | CAS番号 |
|----------------------------|-----------|------------------|-----------------|-----------------|-----------|
| シリコーン、界面活性剤、他 | 13 - 17 | 非公開 | 記載あるが非公開 | 記載あるが非公開 | 記載あるが非公開 |
| ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C12-15) | 3.0 - 6.0 | 非公開 | 7-97 | 7-97 | 記載あるが非公開 |
| 非晶質シリカ | 0.1 - 1.0 | SiO ₂ | 1-548 | 1-548 | 記載あるが非公開 |
| 水 | 77 - 84 | H ₂ O | - | - | 7732-18-5 |

本製品は、高懸念物質 (SVHC) ((EC) REACH規制No. 1907/2006、第57条) を 0.1%以上含まない。

4. 応急措置

4.1 応急措置の内容

一般情報:

被災者を安全な場所へ移動する。救助者は、応急措置に備えて保護具を点検して着用する。本製品に触れた場合には医師の診断を受けること。

眼に入った場合:

直ちに清浄な水で最低10~15分間眼を洗浄し、医師の手当てを受ける。まぶたを十分に開き、眼とまぶたの裏側を洗浄する。医師の診察を受け、対象物質を明らかにする。

皮膚に付着した場合:

布又は紙で拭いて取り除く。汚染された、もしくは濡れた衣服は脱ぎ捨てる。大量の水またはせっけん水で、直ちに10-15分間洗い流す。大量に被液した場合は、すぐに緊急シャワーで体全体を洗う。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

吸入した場合:

患者を安静に保つ。体温低下を防ぐ。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

飲み込んだ場合:

多量の水を少量づつに分けて与える。吐き出させない。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

4.2 最も重要な徴候及び症状

本項の別箇所に関連情報がある。

4.3 医師による応急手当または特別な治療の必要性

吸入後 : できるだけ早くコーチゾンスプレーを用いて処置する。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

消火剤:

非該当

使用不可消火剤:

非該当

5.2 火災時の特有の危険有害性

非該当

5.3 火災予防に関する注意

消火時に必要な保護具:

空気呼吸器を着用する。

一般情報:

不燃物なので、火元の火災状況に適した消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

保護具 (8項参照) を着用する。 眼や皮膚への接触を防ぐ。 製品が床に飛散すると滑る危険がある。

6.2 環境に対する注意事項

河川、海洋、湖沼、下水、土壌に流さない。 製品が広がらないように土などの適切なもので堰き止める。

6.3 封じ込め及び浄化の方法・機材

回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。 少量の場合には、珪藻土などの吸着剤に吸収させ、法規制に従って廃棄処分する。 大量に回収する場合には、ポンプなどを用いて適当な空容器に回収する。 滑り易い残留被膜は、洗浄剤/石鹼溶液又は生分解性洗剤を用いて除く。

6.4 その他参照項目

他項の関連情報に留意すること。 これには特に個人用保護具 (第8項) および廃棄 (第13項) に関する情報が該当する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全取扱い注意事項

一般情報

使用前に十分に攪拌する。

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

安全取扱い注意事項 :

製品がこぼれた場合、滑りやすくなるので注意する。

火災、爆発防止の注意事項 :

火災や爆発の恐れはない。

7.2 適切な保管条件

保管場所及び容器 :

プラスチック製もしくはプラスチック内張り容器に保管する。

接触を避ける物質等 :

非該当

その他の保管条件等 :

日光に当てない。凍結させない。

7.3 特定の最終用途

データなし。

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメータ

作業環境の暴露限界値 :

非該当

8.2 暴露管理

8.2.1 作業場所での暴露対策

一般的な保護対策及び衛生対策 :

眼への接触を防ぐ。取扱中は飲食しない。

保護具:

呼吸用保護具

通常呼吸保護具は必要ない。

スプレー或いはエアロゾルに曝露する場合は、適切な呼吸保護具及び防護服を着用する。適切な呼吸保護具: EN 149規格等で認められたフィルタ内蔵型ハーフフェイスマスク。

フィルタの推奨タイプ: FFP1、或いはEN 149規格等で認められた同等のフィルタ

呼吸保護具の使用時間限度及び装置メーカーの注意情報を遵守する。

眼の保護具

密着性が良い保護ゴーグル。

手の保護具

本製品の取り扱いに際しては、常に保護グローブを着用すること。

手袋の推奨素材: ブチルゴム製保護手袋

素材の厚さ: > 0.3 mm

破過時間 : > 480 min

手袋の推奨素材: ニトリルゴム製保護手袋

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

素材の厚さ : > 0.4 mm
破過時間 : 10 - 30 min

手袋メーカーからの浸透性や耐用期間に関する指示を遵守する。切傷の危険、摩損、接触時間等の製品を使用する現場の特殊状況も考慮する。耐薬品防護手袋の日常使用時間は、(温度等の)多くの作用要因により、テストで確認された浸透時間よりはるかに短いことに留意する。

8.2.2 環境への漏出対策

河川、海洋、湖沼や土壌に流さない。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的性質

| 性状: | 値: | 試験法: |
|-----------------------|---------------------------|------|
| 外観 | | |
| 物質の状態 | 液体 | |
| 色 | 白色 | |
| 臭い | | |
| 臭い | 弱い | |
| 臭気限度 | | |
| 臭気限度 | データなし | |
| pH | | |
| pH | 約 7 / 20 ° C | |
| 融点/凝固点 | | |
| 融点 | 約 -1 ° C / 1013 hPa | |
| 沸点 | | |
| 沸点 | 約 100 ° C | |
| 引火点 | | |
| 引火点 | 非該当 | (-) |
| 蒸発率 | | |
| 蒸発率 | データなし | |
| 燃焼または爆発の上限/下限 | | |
| 爆発限界 (下限) | 非該当 | |
| 爆発限界 (上限) | 非該当 | |
| 蒸気圧 | | |
| 蒸気圧 | 23 hPa / 20 ° C | |
| 溶解度 | | |
| 水溶性/混和性 | 完全混和 | |
| 蒸気密度 | | |
| 蒸気密度 | データなし。 | |
| 相対密度 | | |
| 相対密度 | 約 1 (水 / 4 ° C = 1,00) | |
| 密度 | 約 1 g/cm ³ | |
| n-オクタノール/水分配係数 | | |
| n-オクタノール/水分配係数 | データなし。 | |
| 自然発火温度 | | |
| 発火点 | 非該当 | (-) |

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

粘度

粘度 : 非該当

分子量

分子量 : 非該当

9.2 その他の情報

データなし。

10. 安定性及び反応性**10.1 一般情報**

現時点において、通常の工業的取扱い及び保管において危険な反応等は報告されていない。

別項に関連情報が記載されている場合がある。

10.2 避けるべき条件

知見なし

10.3 不適合材料

知見なし

10.4 危険有害な分解生成物

規則に従った貯蔵と取扱いによる場合 : 知見なし。製品中のシリコン成分 : 約150°C以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

11. 有害性情報**11.1 毒性に関する情報****11.1.1 急性毒性****評価:**

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.2 皮膚腐食性/刺激性**評価:**

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**評価:**

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.4 呼吸器感作性または皮膚感作性**評価:**

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。



安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

11.1.5 生殖細胞変異原性

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.6 発がん性

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.7 生殖毒性

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.8 特定標的臓器毒性 (単回暴露)

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.9 特定標的臓器毒性 (反復暴露)

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

11.1.10 吸引性呼吸器有害性

評価:

成分由来の吸引危険性については、全体製品の分類および表示に明記されている。

11.1.11 追加の毒性情報

ヒトに対する低感作閾値が研究で示唆される物質を< 0.1%で含む。

12. 環境影響情報

12.1 有害性

評価:

この評価項目では本製品の試験データは得られていない。現時点において、排水処理施設への影響は報告されていない。

12.2 残留および分解性

評価:

シリコン成分 : 生分解性は低い。 活性汚泥への吸着による処理可能。

12.3 生体蓄積性

評価:

生体内での蓄積性はない。

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

12.4 土壌中移行性

評価:

シリコン成分 : 吸着マットなどに吸収、又は沈降法によって分離する。

12.5 PBT(難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する)並びにvPvB(高難分解性および高生物蓄積性)の評価結果

データなし。

12.6 その他の有害作用

知見なし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

13.1.1 残余廃棄物

推奨方法 :

焼却処理することとし、化学物質の焼却処理ができる専門業者に処理を依頼するか、自社で焼却する場合には廃棄物処理関連法令及び条例等に従って処理する。焼却により、二酸化ケイ素微粉末が生成するので、適切な電気集塵装置等が設置された焼却設備で焼却する。また、防塵マスク等の保護具を着用する。

13.1.2 汚染容器・包装

推奨 :

液ダレ、残粉がないように注意深くかき出し、容器から中身を完全に取り除く。容器はリサイクルできる場合がある。自社で廃棄処理する場合は、廃棄物処理関連法令及び条例等に従って処理する。

14. 輸送上の注意

14.1 輸送関連等級

国内規制 (陸上輸送):

消防法区分 : 非該当

追加情報 : 運送に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

海上輸送 (IMDG Code) :

評価 : 非危険物

航空輸送 (ICAO/IATA):

評価 : 非危険物

14.2 環境有害性

環境有害性: なし

14.3 使用者への特別注意事項

他項の関連情報に留意すること。

14.4 MARPOL 条約附属書IIおよびIBC規則に基づくバルク輸送

タンカーによるバルク輸送は意図されていない。

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

15. 適用法令

15.1 主な適用法令

国/地域の規則を確認すること。
ラベルについての情報は2章参照。

化学物質排出把握管理促進法:

| | | |
|-----------|---------|----------------------------|
| 第1種指定化学物質 | 第 407 号 | ポリオキシエチレンアルキルエーテル (C12-15) |
|-----------|---------|----------------------------|

毒物及び劇物取締法:

非該当

労働安全衛生法

施行令別表第1危険物:
非該当

有機溶剤中毒予防規則:
非該当

施行令第18条 (名称等を表示すべき有害物):
非該当

第57条の2 (通知対象物質):
非該当

消防法:

消防法区分 : 非該当

15.2 国際的な化学物質登録状況詳細

個々の物質リストに関する情報が存在する場合は、以下にその旨表示される。

日本 : **ENCS** (Handbook of Existing and New Chemical Substances):
この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

オーストラリア : **AICS** (Australian Inventory of Chemical Substances):
この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

中国 : **IEGSC** (Inventory of Existing Chemical Substances in China):
この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

カナダ : **DSL** (Domestic Substance List):
この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

フィリピン : **PICCS** (Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances):
この製品は登録されている、或いは物質リストと一致する。

アメリカ合衆国 (USA) : **TSCA** (Toxic Substance Control Act Chemical Substance Inventory):
本製品の全成分はアクティブリストに記載、または物質インベントリーと一致しています。

台湾 : **TCSI** (Taiwan Chemical Substance Inventory):
本製品は既存化学物質リストに登録済み、または物質インベントリーに準拠しています。一般的注記: 台湾の化学物質取締法では、TCSI登録済みあるいはTCSI準拠物質を台湾に輸入または台湾で製造する際に100 kg/年の限界量を超える場合は(混合物の場合は各成分毎に測定すること)、フェーズ1登録が必要です。これに関する責任は輸入業者または製造者が負います。

安全データシート (SDS)

製品名 : 60082553

FU 2920

版数 : 2.3 (JP)

印刷日 : 09.12.2019

改定日 : 28.11.2019

欧州経済領域 (EEA)..... : REACH (Regulation (EC) No 1907/2006):

一般的注意: 欧州経済領域 (EEA) での製造あるいはEEA域内への輸入に求められる登録義務は、指令第1項で規定されている供給者によって遂行される。クライアントあるいは他の川下ユーザーがEEAへ輸入する場合に生ずる登録義務は、川下ユーザーが負う。

韓国 (大韓民国)..... : AREC (化学物質の登録及び評価に関する法律: “K-REACH”):

一般的注意: 韓国で製造したり韓国に輸入する際の登録義務は、第1項で言及のサプライヤーが行う。韓国に輸入する際の登録義務は、輸入する顧客あるいは他の川下ユーザーがおこなう。

16. その他の情報

16.1 補足

この情報は本書改訂時点の知見に基づいています。記述内容は法的保証規定の意味における製品性状を保証するものではありません。

本書が提供される場合でも、ユーザーは当該法規および規定を順守する責任を免除されません。特に本製品あるいは本製品を含む混合物または製品の転売、他の法域への転売、および第三者の知的所有権の保護もその対象となります。本製品が加工または他の材料と混合された場合は、明確に言明されない限り、本書の記述内容を転用できないことがあります。本製品を再梱包する場合は、要求される安全情報を添付しなければなりません。

ワッカー社は、当社製品を人体内または体液や粘膜と接触する用途に使用することを制限します。詳細については、www.aws-silicone.comにおいて当社のヘルスケア指針をご確認ください。ヘルスケア指針に従わない場合、ワッカー社は製品の出荷を取り消すことがあります。

16.2 その他の情報:

左側余白の縦線は前の版 (version) に比較して変更のあることを示す。この版の記載はすべての旧版に対して優先する。